高等学校 令和６年度（１年次用） 教科　保健体育　科目　保健

教　科：　保健体育　　科　目：　保健　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　１年次　E　組～　F　組

教科担当者：（　E組：本間　）　（　F組：本間　）

使用教科書：（『新高等保健体育』大修館書店　）

教科　保健体育　の目標：

【知識及び技能】健康に関する基礎知識を学び応急処置や救命活動ができるようにする

【思考力、判断力、表現力等】健康づくりのための対策と疾病・事故の予防策を立てることができるようにする

【学びに向かう力、人間性等】日常生活において健康づくりの取り組みができるようにする

科目　保健　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
健康に関する基礎知識を学習し応急処置ができるようにする	各単元の健康課題や健康づくりの計画や・防災や安全対策に取り組めるようにする	日常生活において健康づくりや安全対策が実行できるようにする

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	現代社会と健康 【知識及び技能】 国民の健康課題について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、それらを説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康について学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。	・指導事項 日本の健康課題 健康の考え方・成り立ち 健康に関わる環境づくり 意思決定・行動選択 ・教材 教科書「新高等保健体育」大修館 図説「図説新高等保健」大修館 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 日本の健康課題の現状を認識する。 【思考・判断・表現】 自らの健康づくりのための課題や方法を考え計画を立案できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活から健康づくりに取り組んでいるか。	○	○	○	5
	現代社会と健康 【知識及び技能】 現代の感染症について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、それらを説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康について学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。	・指導事項 現代における感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防 ・教材 教科書「新高等保健体育」大修館 図説「図説新高等保健」大修館 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 感染症に対する正しい知識を学習し適切な予防法を習得する。また有効な治療法を知る。 【思考・判断・表現】 感染症の予防について、日常生活における具体的な対策を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの日常生活において予防対策に取り組む。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2学期	現代社会と健康 【知識及び技能】 生活習慣病、がんについて理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、それらを説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康について学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。	・指導事項 生活習慣病の予防と回復 身体活動・運動と健康 食事・休養・睡眠と健康 がんの予防と回復 ・教材 教科書「新高等保健体育」大修館 図説「図説新高等保健」大修館 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 生活習慣病やがんの正しい知識を学習し適切な予防法を習得する。また有効な治療法を知る。 【思考・判断・表現】 がんを含めた生活習慣病について日常生活における具体的な対策を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの日常生活において予防対策に取り組む。	○	○	○	6
	現代社会と健康 【知識及び技能】 喫煙・飲酒・薬物乱用・精神疾患について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、それらを説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康について学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。	・指導事項 喫煙・飲酒と健康 薬物乱用と健康 精神疾患の特徴と対応 ・教材 教科書「新高等保健体育」大修館 図説「図説新高等保健」大修館 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 喫煙・飲酒・薬物乱用により人体への影響を学習する。精神疾患の発症や回復について理解を深める。 【思考・判断・表現】 健康を考慮して喫煙・飲酒との関わり方を考え薬物乱用防止の対策を考える。精神疾患の早期発見など適切な対応について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの日常生活において予防対策に取り組む	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
3学期	安全な社会生活 【知識及び技能】 安全な社会生活について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活に関わる事象や情報から課題を発見し、それらを説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会生活について学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。	・指導事項 事故の原因と発生要因 事故防止の取り組み 安全な社会の形成 応急手当と救急医療体制 心肺蘇生法・日常的な応急手当 ・教材 教科書「新高等保健体育」大修館 図説「図説新高等保健」大修館 心肺蘇生ダミー	【知識・技能】 事例から事故防止策や、応急手当、心肺蘇生法について、正しく理解する。 【思考・判断・表現】 日常生活における事故への予防・安全対策を考える。応急手当の意義を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 率先して応急手当、心肺蘇生法を実施できるようにする。救急医療を適切に活用できるようにする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計 35